

# 平成30年度 第4回精華町立体育館・コミュニティーセンター及び 町内体育施設指定管理者連絡調整会議 議事摘録

## ■日時

平成30年7月20日（金）午後1時30分から2時30分まで

## ■場所

むくのきセンター 第5会議室

## ■出席者

体育協会 谷専務理事、山下事務局長、西田事務局次長  
精華町教育委員会教育部 岩崎教育部長、土井社会体育係長、河西社会教育係長

## ■内容 進行：山下事務局長

### 1 開会

議長欠席のため、要綱第5条第4項に基づき副議長が進行する。

### 2 議題

#### (1) 精華町体育協会より

##### 【西田事務局次長】

##### ① 平成30年4～6月の実績について

##### ○平成30年6月の実績報告と今後の予定（資料1）

- ・維持管理として定期保守は3件実施し特に異常無し。修繕は2件実施、うち1件は保証期間内で対応。
- ・スポーツ・文化振興事業は、メンズクッキングを6月から開講した。今後月1回程度開催していく。年齢層は定年後のシニア層が中心となっている。
- ・夏休み子ども教室を開講予定。学校にチラシを配布し募集した。

##### ○施設利用人数について

- ・指定管理2期目の4～6月を終えて、昨年度同月との比較（資料2）で利用者数は非常に増えている。特にアリーナのコート貸しの増加とトレーニング室では利用者が毎月100人ほど増えてきている。
- ・その要因としては、平成28年10月からスタートしたコート貸しが定着してきていることと、トレーニング室においては、専門トレーナーを定期的に配置したことと考えている。
- ・利用実績表（資料4）では、30年度の目標が10万人だが、3か月で達成率が27%と順調である。

##### ○スポーツ・文化事業の実施状況について（資料3）

- ・年間計画に基づき、順調に進めている。
- ・新規事業は、夏休み子ども教室の実施にあわせて親子合気道教室、夏休み自由研究を年間計画から追加した。一方、絵画教室は、講師と日程が合わず今年度は開催中止とした。

- ・夏休み自由研究の内容は、「食べ物の糖度を測ってみよう」と「お小遣い帳の付け方を学ぼう」の2講座である。講師は府の出前講座で依頼し、講師料が無料となったため受講料を安価にすることができた。

○維持管理・保守点検の実施状況について（資料5）

- ・ほぼ予定通り実施している。1件、スポーツ交流広場整備業務については、4月に実施予定であったが7月にゲートボール連盟で実施していただいた。
- ・打越台グラウンドの剪定・除草等業務は、現在行うところがないため行っていない。軽微な草刈等は日常業務において行っている。

【岩崎教育部長】

- ・利用人数について、非常に伸びていることがわかった。この3か月通り進めば目標値より多い。分析でコート貸し中心に伸びているとのこと。これは第三者評価の指摘で「伸びがある部分」と言われた部分である。まだ余力はあるか？

【西田事務局次長】

- ・駐車場の不足問題が喫緊の課題となっている。施設として余力はあるが、駐車場の関係で抑制せざるを得ない状況である。

【土井社会体育係長】

- ・7月の報告として、打越台にあったブロック塀を撤去してもらった。打越台テニスコートの照明の不具合について、昨日設置業者の正式な報告書の提出があった。

(2) 精華町教育委員会より

① 文化講座の実施（資料6）

【河西社会教育係長】

- ・4月の連絡調整会議で提案した文化講座について、6月には第1回に依頼予定の上杉先生にむくのきセンターで顔合わせを行った。
- ・上杉先生の他に、府立大学の生涯学習事業講演テーマ一覧から先生を依頼したり、グローバルネットに1講座依頼したりする予定である。
- ・今後、開催に向けて日程調整など行う予定。体育協会には広報で協力いただくなど、一緒に取り組んでいきたい。

【岩崎教育部長】

- ・下半期10月から何回かできればと考えている。場所や広報などを相談したい。8、9月で具体的に相談を進める。

(3) その他

○管理施設修繕必要箇所等一覧（資料7）

【西田事務局次長】

- ・新たにマッサージ器のリモコンの基盤故障を追加した。

【山下事務局次長】

- ・第3会議室・第4会議室のブラインド修繕について、カーテンに変更して行うことを考えている。その方が工事費も安く、維持管理がしやすい。

【土井社会体育係長】

- ・生涯学習課の修繕予算の残額が少ない。今後、シャワー修繕等も見込まれる。特に何を優先的と考えるか。

【山下事務局長】

- ・頻繁に利用されており、利用者に直結するため、マッサージ器のリモコンを最優先でお願いしたい。

【土井社会体育係長】

- ・承知した。他の修繕の多くは、今後、今年度策定する長寿命化計画の中で個々を修理対象としていくことになる。それによって、壊れる前に変えていくという対応になる予定である。

【岩崎教育部長】

- ・長寿命化計画は、短期的、中期的、長期的に分けて、それぞれ優先順位を付けて対応することになる。策定には体育協会のヒアリングを行う。今から整理をして、まとめておいてもらいたい。

○地震時の対応

【山下事務局長】

- ・地震発生時7時58分、既に出勤していた。災害マニュアルに従い、まず館内点検を行い、防火扉などの復旧などを行った。道場の天井の一部が落ちかけていた。これは翌日すぐに修理した。
- ・すぐに利用者が来館していた。対象施設の安全確認を行った上で支障がなかったので、利用者に利用してもらった。しかし、今回と同等や今回以上の地震が発生した場合、当日は閉館するなどの対応も必要ではなかったかと思っている。

【岩崎教育部長】

- ・基本的には災害マニュアルに沿って対応してもらった。ただ災害マニュアルには、震度何で閉館するとは決まっていない。

【土井社会体育係長】

- ・かしのき苑、交流ホールを確認したところ、大雨などの警報が出れば閉館だが、地震の規定はない。木津川市の体育施設も規定がないとのこと。
- ・利用中に地震が起こった場合、安全確認を行うまで外に出てもらうことを考えると、開館前に起こっても同じように、安全確認が終わるまで待ってもらう、または使用を中止するのもひとつである。今後考えていく。

○大雨時の対応

【山下事務局長】

- ・避難所として開設し、開館中も職員2名が常駐されたが、提案として、平日昼間で指定管理者が業務をしていれば2名ではなく1名の動員で構わないのではないか。また今回、夜間の施設の機器操作などに手間取った部分もあり、次長が急きょ出勤対応をした。避難所開設にあたり、現在は指定管理者の動員規定はないが、これからは事前に1名動員と決めることも検討していく必要がある。

【岩崎教育部長】

- ・次長の夜間対応、また日中1名でいいとの申し出に感謝する。

○グローバルネットの町民体育大会の参加について

【山下事務局長】

- ・先日からグローバルネットの役員さんや職員と相談を行っている。国際交流という視点があり、良い形で参加していただけるよう調整したい。
- ・今後は、指定管理事業においても協力していければと考えている。

【岩崎教育部長】

- ・前向きな検討に感謝する。一緒に、また次年度以降についても考えていきたい。グローバルネットは先ほどの文化講座のこともあり、いろいろな関わり合いも出てくるので、関係をもっといただければと思う。

○暑さによる対応について

【山下事務局長】

登録団体は、通常1週間をきっての自己都合によるキャンセルはできないが、今年は無例の暑さであり、猛暑による熱中症が懸念されるため、直前のキャンセルであっても柔軟に対応する。また個人利用についても当日のキャンセルを含め柔軟に対応する。当面8月末までとして対応する。

3 閉会